

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻耕作を主とした平地農業地域
- 担い手への農地の集約が十分に進んでいないことが課題

【支援内容・背景】

- 地域農業の発展・安定のため、担い手を中心とした営農体制の構築に向け農地の集積・集約化が必要。
- 助成対象者は今後の地域の中心となる経営体であり、経営面積の拡大を志向している。このため、地域における担い手の経営強化と経営規模拡大に伴う農地集積のモデルとして育成・支援。



助成対象者「長野ライス株式会社」の経営の状況と事業内容

《事業活用の背景》

- 経営面積の拡大を図るためには、水稻・麦跡に行うキャベツ生産について効率化を図ることが必要。
- キャベツの移植・収穫の効率化に資する高性能機械の導入により、従来の手作業が機械化されることから効率化とあわせて高収益化につながるとともに、農地利用の安定化による経営面積の拡大を図る。

【経営の経緯】

- 平成24年 法人設立
- 令和 2年 経営改善計画の認定

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

キャベツ
○売上高 1,740千円

○面積 5 ha

《事業による整備内容》

- キャベツ収穫機 1台
事業費 7,000千円
(国費 3,181千円)
- キャベツ乗用移植機 1台
事業費 2,585千円
(国費 1,175千円)



【現在の経営状況】
〈R5年度〉

キャベツ
○売上高 21,600千円
(1,240%)

○面積 10ha (200%)

事業の
効果

《対象者》 経営面積の拡大が実現し、収穫量が増加したことで、売上高の大幅な拡大が実現。
《地 区》 将来の担い手の経営面積の拡大による農地の集積・集約化が進行。